

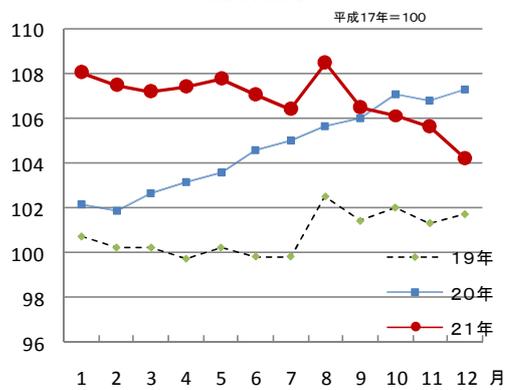
## 4 費目別指数の動き

### (1) 食料

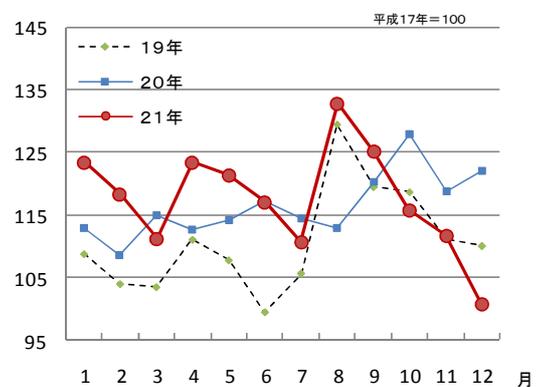
年平均指数は106.9となり、前年に比べ2.1%の上昇となった。生鮮食品についてみると、生鮮魚介が0.7%下落したが、生鮮野菜が0.9%の上昇、生鮮果物が1.9%の上昇となり、生鮮食品全体では0.7%の上昇となった。

生鮮食品以外では、穀類は1.5%の上昇、肉類は1.7%の上昇、乳卵類は7.4%の上昇、油脂・調味料は0.1%の上昇、菓子類は7.1%の上昇、調理食品は1.5%の上昇、酒類は3.6%の上昇、外食は0.5%の上昇となった。一方、飲料は0.9%の下落となった。

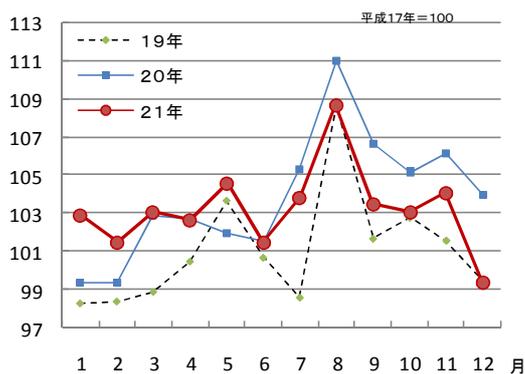
食料指数



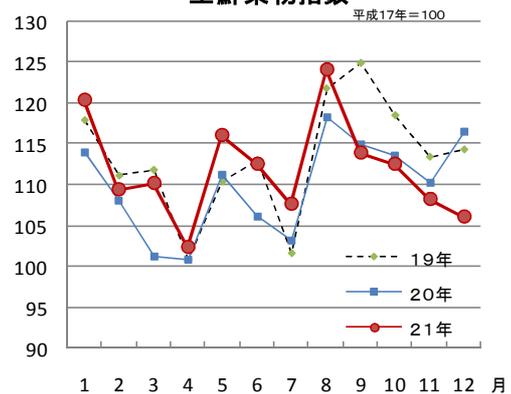
生鮮野菜指数



生鮮魚介指数

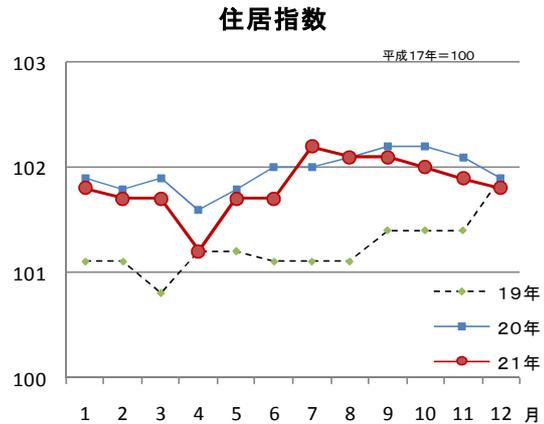


生鮮果物指数



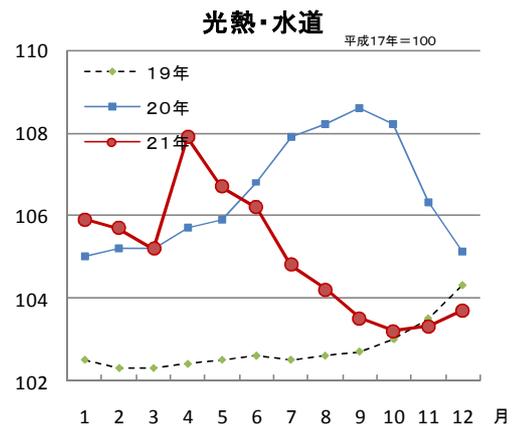
## (2) 住居

年平均指数は101.8となり、前年に比べ0.2%の下落となった。内訳をみると、設備修繕・維持は0.3%上昇となった。一方、家賃は0.2%の下落となった。



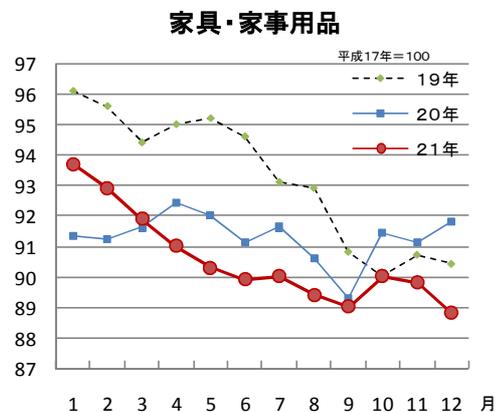
## (3) 光熱・水道

年平均指数は105.0となり、前年に比べ1.4%の下落となった。内訳をみると、他の光熱は38.3%の下落となった。一方、電気代は0.7%の上昇、ガス代は2.5%の上昇、上下水道料は2.4%の上昇となった。



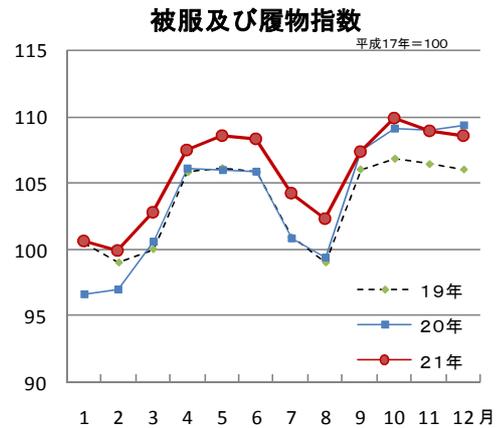
## (4) 家具・家事用品

年平均指数は90.6となり、前年に比べ0.8%の下落となった。内訳をみると、家庭用耐久財は10.9%の下落、家事サービスは0.8%の下落となった。一方、室内装備品は9.9%の上昇、寝具類は2.7%の上昇、家事雑貨は1.5%の上昇、家事用消耗品は2.2%の上昇となった。



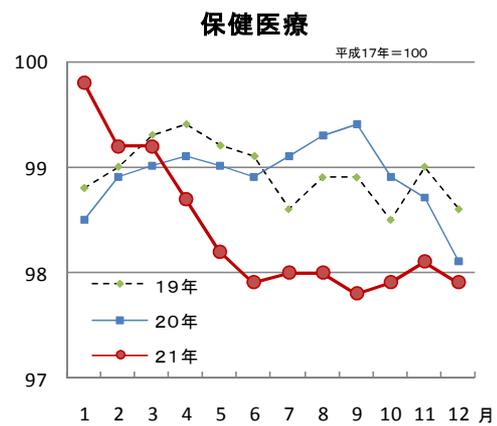
### (5) 被服及び履物

年平均指数は105.8となり、前年に比べ1.8%の上昇となった。内訳をみると、衣料は0.8%の上昇、シャツ・セーター・下着類は4.0%の上昇、下落履物類は0.4%の上昇、他の被服類は2.7%の上昇となった。なお、被服関連サービスは前年と同水準となった。



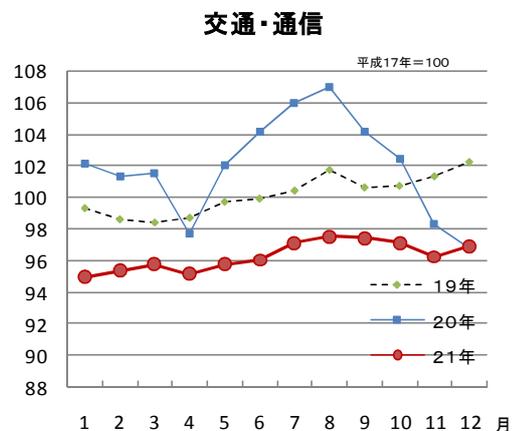
### (6) 保健医療

年平均指数は98.4となり、前年に比べ0.5%下落となった。内訳をみると、医薬品・健康保持用摂取品は8.0%の下落、保健医療用品・器具は1.7%の下落となった。一方、保健医療サービスは2.6%の上昇となった。



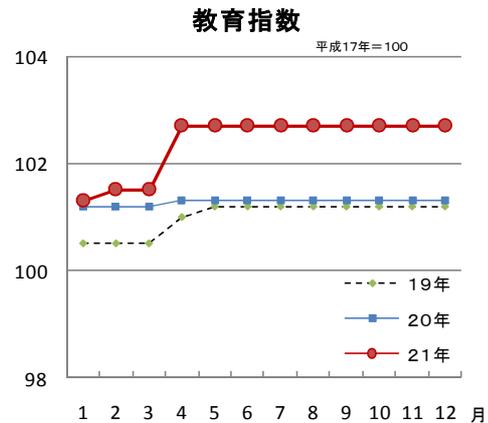
### (7) 交通・通信

年平均指数は96.2となり、前年に比べ5.7%の下落となった。内訳をみると、交通は1.7%の下落、自動車等関係費は9.4%の下落、通信は0.4%の下落となった。



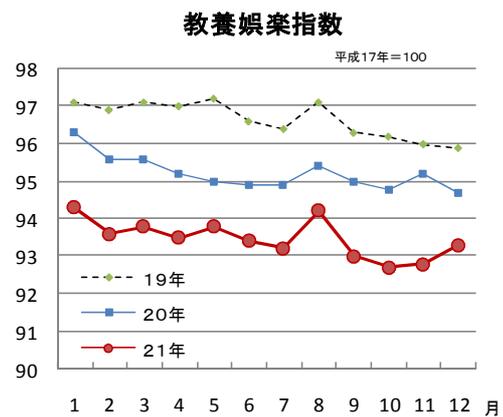
### (8) 教育

年平均指数は102.4となり、前年に比べ1.1%の上昇となった。内訳をみると、授業料等は0.4%の上昇、教科書・学習参考教材は7.7%の上昇、補習教育は2.9%の上昇となった。



### (9) 教養娯楽

年平均指数は93.5となり、前年に比べ1.8%の下落となった。内訳をみると、教養娯楽用耐久財は25.6%の下落、教養娯楽用品は0.5%の下落、教養娯楽サービスは0.9%の下落となった。一方、書籍・他の印刷物は0.3%の上昇となった。



### (10) 諸雑費

年平均指数は100.1となり、前年に比べ0.9%の下落となった。内訳をみると、理美容用品は4.2%の下落、身の回り用品は1.9%の下落となった。一方、理美容サービスは0.4%の上昇となった。なお、たばこ及び他の諸雑費は前年と同水準となった。

